

## 【NEWS RELEASE】

2020年9月30日

各位

株式会社三井住友フィナンシャルグループ

新型コロナウイルス感染症対策への寄付を通じた医療活動の支援について

この度の新型コロナウイルス感染症（以下、「本感染症」）によりお亡くなりになられた方々およびご遺族に対して謹んでお悔やみ申し上げますとともに、罹患された方々の一日も早いご回復と事態の終息を心より祈念しております。

株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長グループ CEO：太田 純、以下、当社グループを総称して「SMBC グループ」）は、2020年5月1日付プレスリリース「新型コロナウイルス感染症拡大を受けた取組について」および2020年6月30日付プレスリリース「新型コロナウイルス感染症対策への寄付を通じた支援について」にて公表した支援の一環として、地域・社会への貢献活動における新たな寄付先を決定しましたのでお知らせいたします。

## &lt; 医学研究・医療活動に対する支援 &gt;

当社は、SMBC グループ各社（ ）およびグループ役職員を代表して、本感染症対策として総額15億円を寄付することを表明しております。本感染症の世界的流行が依然として続くなか、今冬には本感染症拡大及び季節性インフルエンザが同時流行する可能性が高まっており、医療機関においては経営の逼迫が危惧されます。このような事態への備えとして、医療現場の崩壊を可能な限り防止し、負担を軽減する対策を講じる必要性があります。そこで、当社は、エムスリー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：谷村 格、以下エムスリー）が行う「CT 検査を有効活用した医用 AI による診療支援を、1日でも早く多くの医療機関に届け、医療崩壊を食い止める活動」および「医療機関に AI や遠隔読影を体感いただくことで未来の医療界の発展・進化に繋げる活動」に賛同し、以下2つの取組に総額1億円を寄付いたします。

## (1) 本感染症判別 CT 画像解析 AI (以下「判別 CTAI」) サービスの医療機関向け無償支援

エムスリーは、全国の100施設を超える医療機関を対象とし、厚生労働省から製造販売承認を取得した判別 CTAI サービスを一定期間無償支援する取組を実施してきましたが、当社からの寄付によって、本取組をさらに拡大いたします。当社が、本取組を支援することで、より多くの医療機関にて本感染症による重症患者を判別する診療支援が可能となります。

(2)本感染症重症化予測 AI（以下「重症化予測 AI」）の開発

エムスリーは、医療機関のさらなる医療資材投入の効率化および本感染症の重症患者発生の防止を目指して、「重症化予測 AI」を開発いたします。これは、CT 画像のみならず、患者の臨床情報を学習させ、重症化リスクを確率的に予測する AI を開発することで、必要な医療リソースの準備を支援し、重篤化する患者を一人でも減らすことを目的としています。

当社が、本取組を支援することで、今冬拡大の恐れがある本感染症による重症化リスクを伴う患者に対し、効率的な経過観察をすることが可能となります。

なお、本取組は、エムスリーが兵庫県立大学と兵庫県立尼崎総合医療センターを研究代表とした医療機関とともに臨床研究を行い、当社が単独で寄付を通じた支援をさせていただくプロジェクトとなります。

具体的な取組については、エムスリーが本日プレスリリースしている「COVID-19 肺炎 AI の無償支援プロジェクト拡大と重症化予測 AI 開発のお知らせ」をご参照ください。

SMBC グループは、お客さま、そして地域・社会の皆さまが、安心して健やかな暮らしを送れるよう、今後も、多面的かつ柔軟な取組を、より一層迅速に進めていくことで、グローバル金融グループとしての社会的使命を果たしてまいります。

今後、新たな取組を行う際には、ニュースリリース等を通じ順次皆さまにお知らせいたします。また、詳細は、当社ホームページに設置した特設ページ ([https://www.smsg.co.jp/covid\\_19/](https://www.smsg.co.jp/covid_19/)) をご覧ください。

( ) SMBC グループ各社

株式会社三井住友フィナンシャルグループ、株式会社三井住友銀行、株式会社 SMBC 信託銀行、三井住友ファイナンス&リース株式会社、SMBC 日興証券株式会社、三井住友カード株式会社、SMBC ファイナンスサービス株式会社、SMBC コンシューマーファイナンス株式会社、株式会社日本総合研究所、三井住友 DS アセットマネジメント株式会社 等

以 上